

金融・会計

keyword

- EBS 指値市場
- 外為市場介入
- 金融市場間の波及効果
- 世界貿易データ
- 排出汚染収支



吉田 裕司
Yushi Yoshida

経済学部
教授

【プロフィール】

●専門分野

- ・国際金融
- ・国際貿易
- ・ファイナンス

●略歴

- ・1968年 京都生まれ
- ・1984年～1987年 イリノイ州在住
Wheeling 高校 卒業
- ・1992年 神戸大学 経済学部 卒業
- ・1994年 大阪大学 経済学研究科 博士前期課程 修了
- ・1998年 大阪大学 経済学研究科 博士後期課程 単位取得退学 博士(経済学)2013年
- ・1998年～2012年 九州産業大学 経済学部 講師・助教授・教授
- ・2002年8月～2003年7月 カリフォルニア大学 サンタクルーズ校 客員研究員
- ・2012年4月～現在 財経産業研究所 研究会研究員
- ・2012年9月～現在 滋賀大学 経済学部 教授

【代表的な研究テーマ】

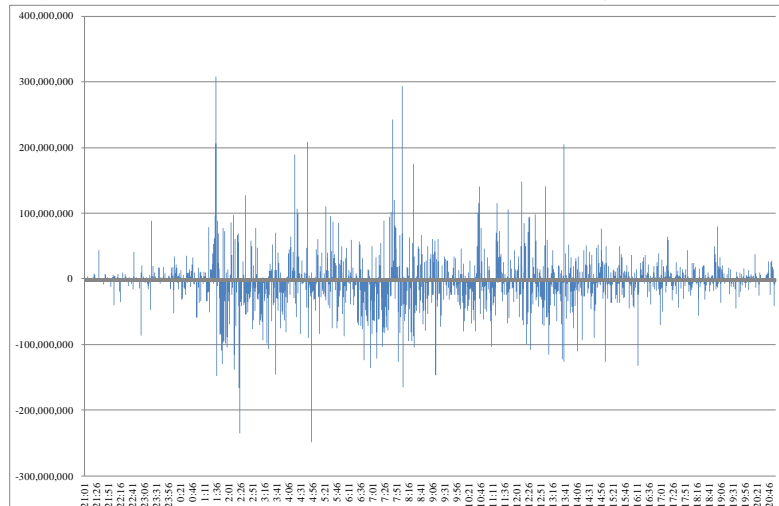
- 電子ブローキングシステム (EBS) 外国為替市場の指値注文
- 貿易に内在化する排出汚染収支の世界データベース化

課題解決に役立つシーズの説明**【1】電子ブローキングシステム(EBS)外国為替市場の指値注文**

外為市場では、世界中の金融機関がコマ数秒単位で100万ドルを最低単位とした取引を行っています。しかし近年では、人間の為替ディーラーではなくコンピューターのプログラムが自動的に売買を行う、アルゴリズムトレーディングが多用されています。市場に寄せられた指値注文の情報を瞬時に処理して、さらなる追加注文をしたり、コマ数秒前の注文をキャンセルしたりします。

このような状況の中、(財務省の指示により)日本銀行が2010年に円ドル市場にドル買い介入を行った当日の売買の状況が下の図で示されています。ドル買い注文はプラス領域、ドル売り注文はマイナス領域として表わされています。1分単位に集計しますと、注文の多い1分間では、3億ドル(当時、243億円)相当もの注文が出されています。この日の注文数は、62万5725回もありました。研究では、このような膨大な情報(Big Data)を計量経済学(統計的に)分析しています。[共同研究者: 須齋正幸教授(長崎大学)] 研究成果: Chapter 10 in the Handbook of Asian Finance, Academic Press (2014), Chapter 13 in the Handbook of High Frequency Trading, Elsevier (2015)

図表: 2010年9月15日の円ドル EBS 市場での指値注文の金額規模(分単位の集計)

**【2】貿易に内在化する排出汚染収支の世界データベース化**

環境問題が非常に深刻な世界的な問題として取り扱われています。世界的な協調の下、CO₂の排出削減を進めることが求められています。しかし、CO₂等や汚染物質等は、排出している国だけの責任でしょうか。例えば、中国で生産する際に排出された温暖化ガスや汚染物質は、中国製品を欲する世界中の国の需要から生み出されています。すなわち、中国の拡大する輸出を支える中国国内の生産から生じる排出汚染は、需要国の責任と考えることもできます。このような分析を可能にするために、研究では世界全ての国の輸出・輸入から発生する汚染物質の量を推計したデータベースを作成しています。[共同研究者: 本間聡教授(東海大学)] 研究成果: Convergence in Pollution Terms of Trade, 2018 現在 under review for resubmitted, *Journal of International Trade & Economic Development*

【3】株式市場間の国際的な波及分析

株価の暴落のような経済的な負のショックは、世界各国の株式市場にグローバルに波及することが多々あります。そのような現象を、計量経済学(統計的に)分析しています。[共同研究者: 松木隆教授(大阪学院大学)、杉本喜美子教授(甲南大学)] 研究成果: The Global Financial Crisis: An Analysis of the Spillover Effects on African Stock Markets, 2014, *Emerging Markets Review*, 21, 201-233.

企業・自治体へのメッセージ

現在、金融機関との共同研究で、顧客マッチングと従業員パフォーマンスの分析に携わっています。特に、企業側が気づいていない「新たな視点で」どのようなデータを分析すべきか、を提案しています。膨大なデータがまだ100%は活用されていない状況があるのではないのでしょうか。ご相談ください。